

化学物質の適正管理

グリーン規定に従って化学物質を適正に管理し、排出などを削減していきます

●化学物質の排出・移動量

2009年度は、PRTR対象物質について排出量、移動量とも、ほぼ2008年度と同じレベルでした。

従来、有害物質であるベンゼンを製造に使用していましたが、代替品の検討などにより使用中止するとともに、在庫

分は廃棄しました(移動量:26t)。

今後の取り組み 2010年度より、改正PRTR法による新しい該当物質についてデータ収集を進めます。今後も、該当物質の大気などへの排出を減少させるよう、設備の改善・新設など努力を続けます。

■荒川化学グループ PRTR対象物質の排出・移動量(2009年度排出量上位12品種)

単位:kg(ただし、ダイオキシン類のみmg-TEQ)

PRTR対象物質	管理番号	排出量			移動量		
		2007年度	2008年度	2009年度	2007年度	2008年度	2009年度
トルエン	227	11,099	9,536	8,286	120,125	83,965	79,423
エチルベンゼン	40	2,640	2,569	2,760	106,326	77,933	84,089
キシレン	63	2,670	2,570	2,750	106,326	77,933	84,089
ホルムアルデヒド	310	1,161	991	940	0	0	0
エピクロロヒドリン	54	385	368	357	0	0	0
メタクリル酸メチル	320	330	209	196	0	0	0
スチレン	177	227	192	173	140	103	164
フェノール	266	172	222	132	0	0	0
アクリロニトリル	7	168	137	120	0	0	0
エチレングリコールモノエチルエーテル	44	21	18	26	805	1,094	774
ベンゼン	299	25	20	8	2,100	2,800	26,000
酢酸ビニル	102	12	12	9	0	0	0
その他(46品種)*		34.2	33.5	26.3	10,277	6,260	11,831
合計		18,947	16,878	15,784	346,099	250,089	286,370
ダイオキシン類	179	0.015	0.000018	0.23	2.56	4.04	0.63

その他*: アクリル酸、p-オクチルフェノール、クレゾール、ビスフェノールA型エポキシ樹脂、亜鉛の水溶性化合物など

●PCB廃棄物の管理

荒川化学グループでは、トランスなどの電気機器を「廃棄物処理法」に従って適正に保管・管理しています。また、「PCB処理特別措置法」に基づくPCB廃棄物の処理計画に沿って、適切に処理を進めています。

●環境に関わる事故

荒川化学グループでは、2009年度も環境保全活動を強力に推し進めた結果、環境に関わる事故は発生しませんでした。また、環境関連の訴訟や環境関連法規制による処罰などありませんでした。2010年度も環境関連の法律・条例などを遵守するとともに、環境保全活動をさらに徹底し、事故ゼロを目指していきます。

●グリーン規定の制定

荒川化学グループでは、環境負荷を最小化し、地球に優しい企業活動を実現するため、グリーン規定を制定しました。グリーン管理は、化学物質をはじめ環境負荷、エネルギー、廃棄物などの削減活動を適切に管理する事であり、関係する基準類を制定しました。このうち、化学物質については、購入から廃棄まで企業活動の各場面での管理を確実なものにしていきます。

■文書体系図

